ECP-2602-ZiSE
ECP-21202-ZiSE
取扱説明書

この度は「ECP-2602-ZiSE」、「ECP-21202-ZiSE」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになった後も、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

ECP-2602-ZiSE

ECP-21202-ZiSE

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

マーク	説明
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

本商品は、クラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本商品の使用に関する注意事項

- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所にお申し付けください。
- 本書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品（ソフトウェア含む）は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は同法による許可が必要な場合があります。
- 本商品を使用して得られたデータを課金等に利用することは計量法により禁止されています。
- 親機は、最新のファームウェアでご使用ください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- **本商品は、航空機内や病院などの無線機器の使用を禁止された場所では使用しないでください**

  電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

- **本商品を以下の場所に設置しないでください**

  火災・感電・故障の原因となることがあります。

  - ・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
  - ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
  - ・ゴミやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

- **本商品を分解しないでください**

  火災・感電の原因となることがあります。
  分解は保証の対象外になります。

- **煙が出ている、変なにおいがするなどの異常を感じたときはすぐに使用を中止してください**

  火災・感電・故障の原因となることがあります。

- **本商品内に異物が挿入したときはすぐに使用を中止してください**

  火災・感電・故障の原因となることがあります。

- **落雷の恐れがあるときは、ご使用をお控えください**

  落雷時に、火災・感電・故障の原因となることがあります。雷が鳴りだしたら、本商品に触れたり、CT クランプの設置作業をしないでください。
  落雷による感電の原因となることがあります。

- **本商品が著しく変色している場合や、外観に破損がある場合は、本商品の使用を中止してください**

  火災･感電の原因となることがあります。

- **本商品は指定箇所以外に取り付けないでください**

  指定箇所以外に取り付けた場合、感電の原因となることがあります。

- **ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください**

  感電の原因となることがあります。

- **万一、落としたり、破損した場合はすぐに使用を中止してください**

  火災・感電・故障の原因となることがあります。

- **小さなお子様の手の届かない場所でご使用ください**

- **CT クランプを接続する際は、絶縁手袋を着用するなど、感電には十分に注意して作業してください**
  また、ブレーカを落とし、ブレーカの金属端子部分を養生してから実施してください

- **CT クランプ設置時にブレーカの金属端子部分をショートさせないでください**

  重大な人身事故や火災の原因となることがあります。

- **電池をショートさせないでください**

  火災、感電の原因となることがあります。

- **電池を火に投下しないでください**

  破裂、発火の原因となることがあります。

- **電池を濡らさないでください**

  火災、感電の原因となることがあります。

- **電池内部の液体が皮膚や目に入ったときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください**

  失明や傷害の原因となることがあります。

- **電池を火のそばやストーブのそばなど高熱の場所での使用、放置をしないでください**

  漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

⚠ 注意

- **ぐらついた台の上や傾いた場所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所で使用しないでください**
  また、本商品の上に重い物を置かないでください
  バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- **屋外には設置しないでください**
  屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- **温度0℃～40℃・湿度20%～85%で、結露しない場所に設置してください**
  温度や湿度がこの範囲を超えたり、結露が発生すると故障の原因となることがあります
  結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに付着し、水滴となる現象です。本商品を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたようなときには、本商品内部に結露が発生し、故障の原因となります。完全に乾燥してから使用してください。
- **本商品を壁等に設置するときは強度のある壁にしっかりと固定してください**
  石膏ボード等弱い材質に固定した場合、落下による転倒やけがの原因になります。
- **本商品に電池を挿入するときは、電池のプラス（＋）、マイナス（－）を間違わないでください**
  液漏れによる火災、本商品の故障の原因となります。
- **電池を一般のゴミとして廃棄しないでください**
  お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。
- **異なった種類の電池、または使用済みの電池と未使用の混用はしないでください**
  漏液、発熱、破裂の原因となることがあります。
- **長時間使用しないときは、液漏れ防止のため本商品から電池を取り外してください**
- **本商品の設置面（背面）以外には 5cm 以上の空間を作るように設置してください**
- **ブレーカのスイッチを切る際には、家電製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください**
  家電製品の故障の原因となることがあります。

お願い

- **ECP-2602-ZiSE は、電力会社との契約が 60A 以下の分電盤に取り付けてください**
- **ECP-21202-ZiSE は、電力会社との契約が 120A 以下の分電盤に取り付けてください**
- **本商品を以下の場所に設置しないでください**

  火災・感電・故障の原因となることがあります。

  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁気を発生する装置が近くにある場所
  - ・コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置が近くにある場所
  - ・特定無線局のある場所
  - ・盗難防止装置など 2.4 GHz 周波数帯域を利用している装置のある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

- **無線 LAN アクセスポイントと本商品の距離が近すぎると無線通信でエラーが発生する場合があります**

  通信エラーが発生する場合は、無線 LAN アクセスポイントから距離を開けてください。

- **本商品は売電が可能な太陽光発電装置が設置されている家屋では、電力会社より消費した電力を正確に測定できない場合があります**
- **本商品に殺虫剤などの揮発性の物をかけたりしないでください**
  また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください

  変形や変色の原因となることがあります。

- **本商品をお手入れする際は、安全のためピンジャックを抜いて、本体を取り外してください**
  また、全ての電池を取り外してください

  取り外した電池は、無くさないようにご注意ください。

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください**

  汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
  なお、中性洗剤を含ませた布でふく場合、コネクタやケーブル類に中性洗剤が付着しないように、注意してください。もし付着した場合は、乾いた布でよくふき取った後、十分に乾燥させてください。

無線通信に関するご注意

本商品は、技術基準適合認証を受けています。本商品をご使用する際に、無線局の免許は必要ありません。
ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意してお取り扱いください。

本商品は、2.4GHz 帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、または本商品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

● 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
● 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  ・強い磁気、静電気、電波障害が発生するところ(電子レンジ付近等)
  ・金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋
  ・異なる階の部屋同士
● 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が､本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
● 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
● 本商品に内蔵している無線機器は､技術基準適合認証を受けていますので､分解・改造した場合、法律で罰せられることがあります。
● 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり､移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式を採用しており、与干渉距離は 30m です。
● 本商品に表示した 2.4DS3 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数	2.4GHz 帯
DS	変調方式	DS-SS 方式
3	想定干渉距離	30m 以下
― ― ―	周波数変更の可否	全帯域を使用し､かつ､移動体識別装置の帯域を回避可能であること。

ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

本商品における無線通信は AES128bit 暗号化で保護されていますが、第三者による侵入に対してセキュリティを保証するものではありません。
あらかじめご了承ください。

マニュアルの読み進め方

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。

付属品を確認する

「1　付属品の確認」（ ☞ p. 12）

本商品の準備

「1　本商品の準備」（ ☞ p. 16）

本商品と親機をペアリングする

「2　ペアリング」（ ☞ p. 18）

本商品を設置する

「3　設　置」（ ☞ p. 20）

お知らせ

・本書は、ECP-2602-ZiSE、ECP-21202-ZiSE 共通の取扱説明書です。両商品に差異がない箇所は、ECP-2602-ZiSE を例として記載しております。

用語説明

本書に出てくる用語を解説します。

用 語	説 明
親機	本商品が測定した電力使用量を収集する機器。
ペアリング	本商品と親機を通信できる状態にする操作。
アンペアリング	本商品と親機を通信できない状態にする操作。 本商品と親機のペアリング情報を消去します。
初期化	本商品と親機を通信できない状態にする操作。 本商品のみのペアリング情報を消去します。
リミッタ	電力会社との契約電流値に応じた定格電流ブレーカ。 電力使用量を制限する役割があります。

目 次

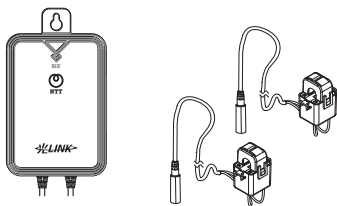
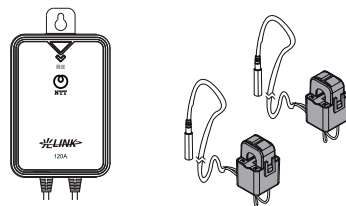
ご使用方法

1　付属品の確認

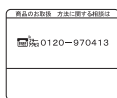
本商品には、本体および付属品が同梱されています。ご使用の前に不足品がないかご確認ください。
万一、不足品がありましたら本書巻末に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

■本体

☐ 本体　1台
☐ CTクランプ付ケーブル（90㎝）　2本

<ECP-21202-ZiSE>

☐ 本体　1台
☐ CTクランプ付ケーブル（90㎝）　2本

■付属品

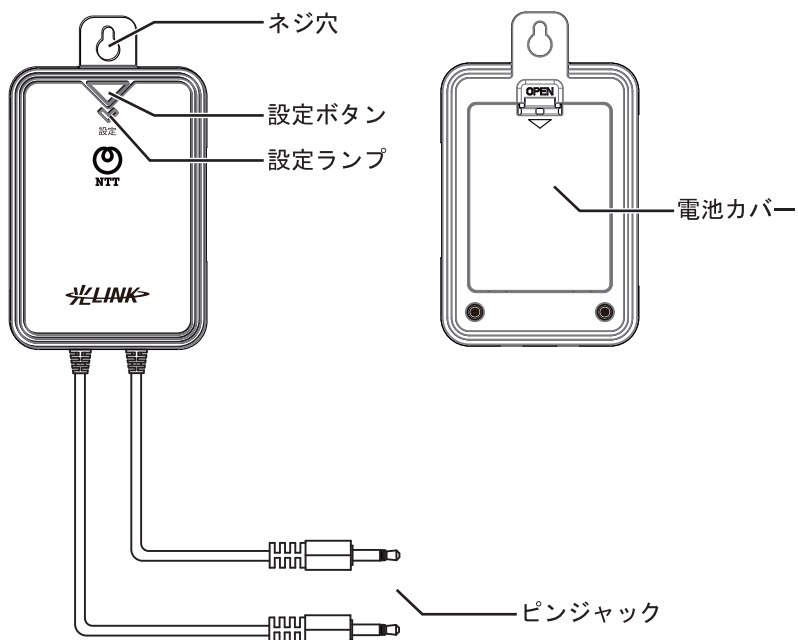
☐ 取扱説明書（本書）
1冊

☐ 通信機器お取扱相談センタシール
1枚

☐ 保証書　1枚
（ご購入の場合にご利用いただけます）

☐ 無線注意ラベル
1枚

単3形電池
（動作確認用）
3個

☐ 壁掛け用ネジ
1個

2　各部の名前

名　前	機能説明
ネジ穴	壁面に固定する際にネジ止めします。(☞ p.25、30)
設定ランプ	点灯/点滅/消灯で状態を表します。(☞ p.14)
設定ボタン	ペアリング/アンペアリング/初期化/電池残量確認/通信確認を操作します。(☞ p.15、18、34、36、38)
ピンジャック	CTクランプ側のソケットと接続するコネクタです。
電池カバー	電池カバーを外し、電池を挿入します。(☞ p.16)

ランプ表示

ランプのつき方		状 態
緑	点灯	起動準備中です。
	点滅（低速）	ペアリングされていない状態です。 2秒間隔で点灯と消灯を繰り返します。
	点滅（中速）	ペアリング中、またはアンペアリング受付状態です。 0.5秒間隔で点灯と消灯を繰り返します。
	点滅（高速）	アンペアリングが失敗、または初期化受付状態です。 0.1秒間隔で点灯と消灯を繰り返します。
―	消灯	ペアリングされている状態です。

お知らせ

- 設定ランプの状態は本商品前面からご確認ください。
- 電池残量・通信確認中のランプ表示は「2 電池残量・通信確認」を参照してください。（☞ p.34）

ファームウェア更新中のランプ表示

設定ランプのつき方		状 態
緑	点滅	ファームウェアを更新している状態です。ファームウェア更新中は、0.1秒程度で点灯と消灯を繰り返します。

お願い

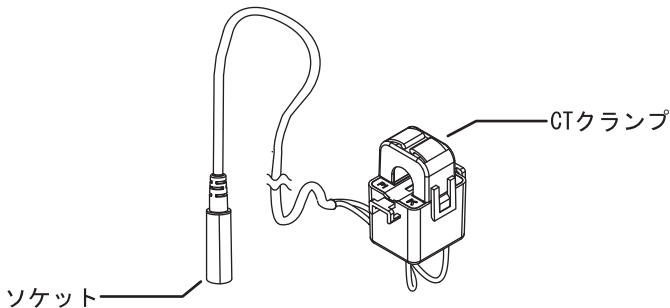
ファームウェア更新中は、本商品の電池を取り外さないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- ファームウェアの更新は、通信状況により十分～数十分程度かかる場合があります。
- ファームウェア更新中は、電力使用量を測定できない場合があります。
- 電池残量が少ない場合、ファームウェアは更新されません。

設定ボタン動作

機 能	操作手順とランプ点灯表示
ペアリング	緑点滅（低速）→【長押し】(☞ p.18)
アンペアリング	消灯→【長押し】→緑点滅（中速）→【長押し】(☞ p.36)
初期化	消灯→【長押し】→緑点滅（中速）→【長押し】→緑点滅（高速）→【長押し】(☞ p.38)
電池残量･通信確認	【約1秒押し】(☞ p.34)

CT クランプ付きケーブル

名 前	機能説明
ソケット	本体側のピンジャックと接続するコネクタです。
CTクランプ	クランプ型電流センサ。分電盤内に設置します。

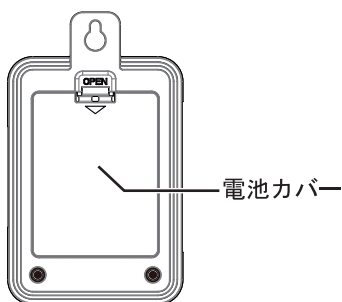
ご使用前の準備

1　本商品の準備

本商品を使用するために、まず以下の手順で準備してください。

お願い

電池を交換するときには、本体を設置した場所から取り外してください。

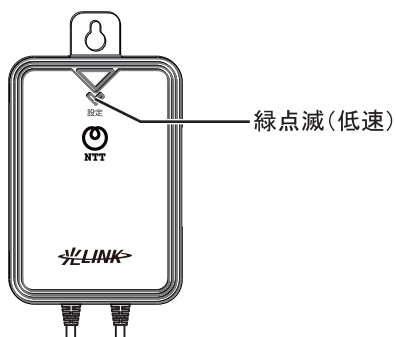
1 背面の電池カバーを外します。

2 電池を挿入します。

電池を挿入後は、速やかにペアリングを行ってください。親機とペアリングしていない状態や、通信できない状態で放置した場合、電池の寿命が短くなります。

お願い

電池を挿入するときは、電池の向きプラス（＋）、マイナス（－）を正しく差し込んでください。

3 **電池カバーを取り付けます。**

4 **本商品の設定ランプが緑点滅(低速)になっていることを確認します。**

お知らせ
本商品がペアリング済みの場合は、設定ランプが消灯しています。

2　ペアリング

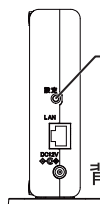
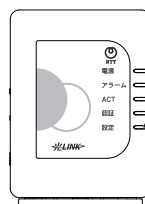
本商品をご使用になるには、親機と本商品をペアリングする必要があります。

本章では、EAD-2-ZiSE（親機）と本商品のペアリング操作例を記述しています。
親機のペアリング操作方法は、親機に付属の取扱説明書をご確認ください。

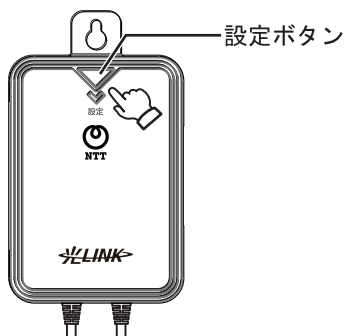
お願い
複数同時にペアリングすることはできません。
必ず1台ずつペアリングしてください。

お知らせ
ペアリングは、実際に使用する場所、または設置場所の近くで操作してください。

1　親機の設定ボタンを 3 秒以上押します。

親機の設定ランプが緑点滅（中速）になってから、設定ボタンを離します。

親機の設定ランプが緑点滅（中速）になってから、1 分以内に手順 2 に進んでください。
1 分以上たつとペアリングができなくなりますので、はじめからやりなおしてください。

2 本商品の設定ボタンを 3 秒以上押します。

設定ランプの緑点滅が早くなってから（緑点滅（低速）→緑点滅（中速））、設定ボタンを離します。

設定ランプが消灯すればペアリングは完了です。

設定ランプが 1 分経過しても消灯しない場合は、ペアリングに失敗していますので、はじめからやりなおしてください。

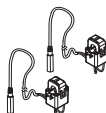
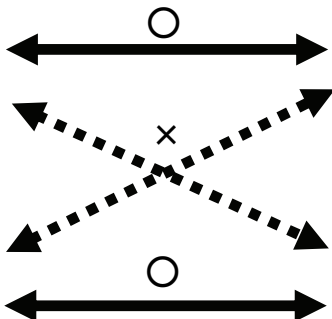
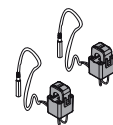
3 設 置

親機とペアリングが完了した本商品を、分電盤に接続します。それぞれご使用される場所に設置してください。

⚠ 警告

- 本商品は指定箇所以外に取り付けないでください。
  指定箇所以外に取り付けた場合、感電の原因となることがあります。
- CT クランプを接続する際は、絶縁手袋を着用するなど、感電には十分に注意して作業してください。
  また、ブレーカを落とし、ブレーカの金属端子部分を養生してから実施してください。
- ブレーカの端子をゆるめたり、ケーブルを外したりしないでください。
  有資格者（電気工事士）以外の電気工事は、法律で禁止されています。

STOP お願い

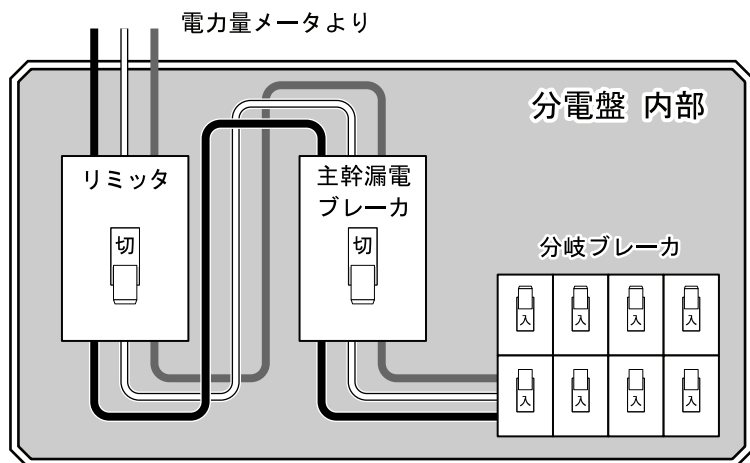
- ECP-2602-ZiSE（本体）には、ECP-2602-ZiSE 用の CT クランプ付きケーブル以外を接続しないでください。電力使用量が、正しく測定できない場合があります。
- ECP-21202-ZiSE（本体）には、ECP-21202-ZiSE 用の CT クランプ付きケーブル以外を接続しないでください。電力使用量が、正しく測定できない場合があります。

分電盤は、お住まいの地域によって、内部の構成が異なります。
ご使用の分電盤の構成をご理解されたうえ、接続してください。

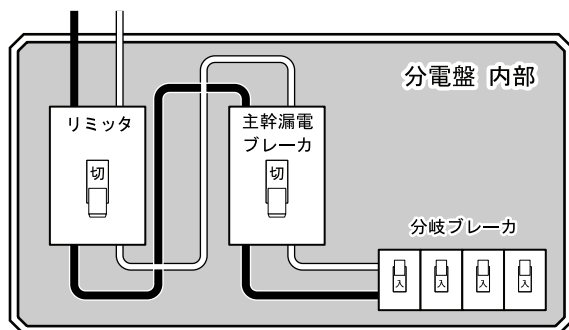
内部構成	参照先
リミッタが設置されている場合	p.21
リミッタが設置されていない場合	p.27

リミッタが設置されている場合

分電盤内部に、リミッタが設置されているタイプに本商品を接続します。

1 **分電盤のカバーを開きます。**

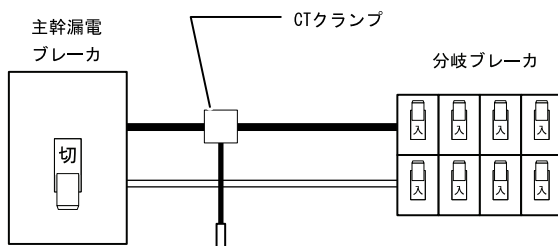
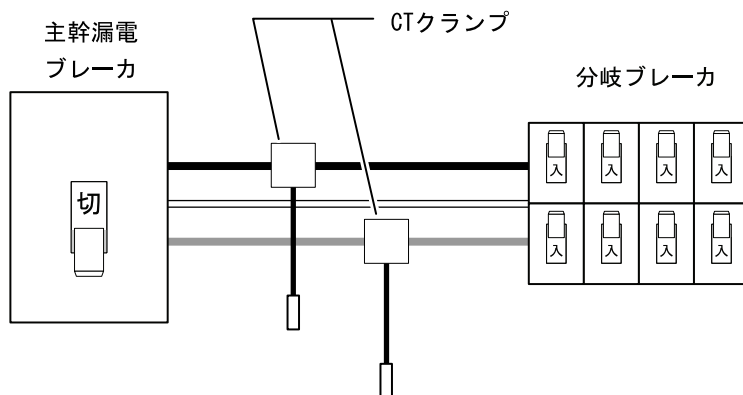
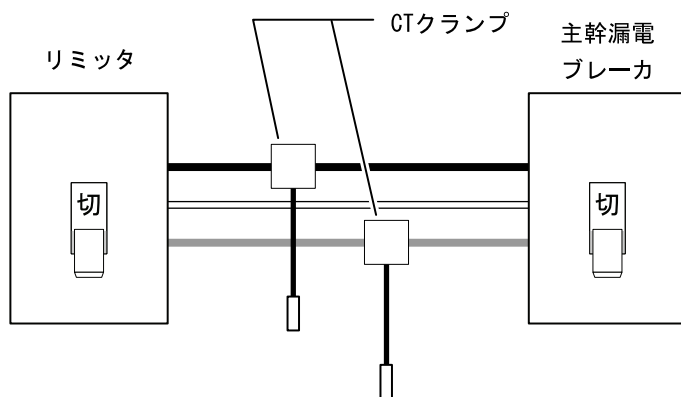
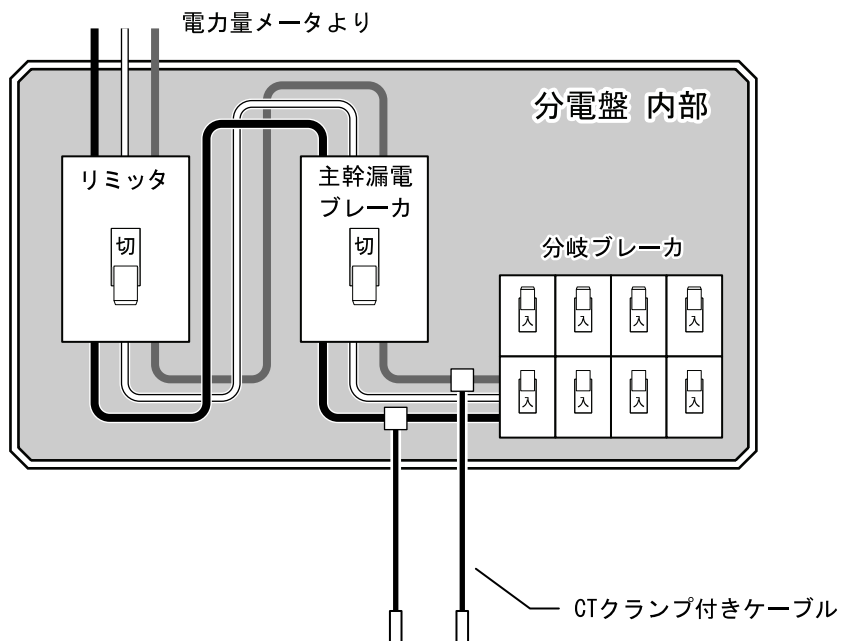
2 **リミッタと主幹漏電ブレーカのスイッチを切り、ブレーカの金属端子部分を養生します。**

イラストは分電盤内部の簡略図です。実際の内容とは異なることがあります。

お知らせ
各ブレーカをつなぐケーブルは、2本の場合もあります。

3 CT クランプを分電盤内のケーブルに接続します。

分電盤内の各ブレーカは、3 本のケーブルでつながれています。
次ページのように中性線（主に白色）以外のケーブルに、それぞれ CT クランプを、カチッと音がするまで挟み込んでください。

ケーブルへの接続位置には 2 箇所、候補があります。
実際の分電盤内のレイアウトに合わせ、次の優先度で接続してください。

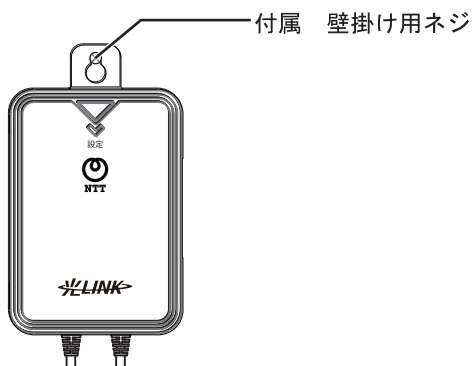
優先度	参照先
優先度 1. 主幹漏電ブレーカ ― 分岐ブレーカ間	p. 23
優先度 2. リミッタ ― 主幹漏電ブレーカ間	p. 23

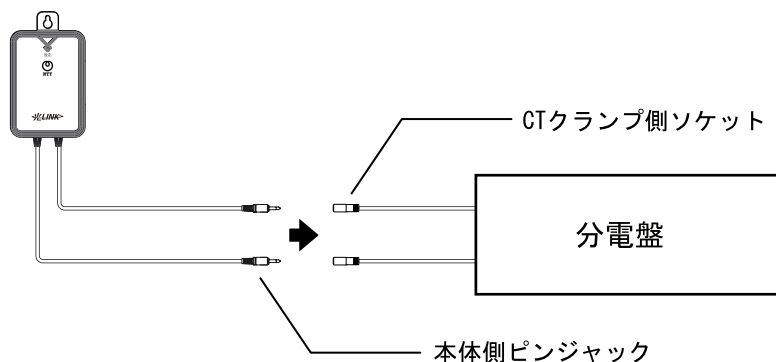
お知らせ
各ブレーカをつなぐケーブルが2本の場合は、どちらかのケーブルにCTクランプを1つ接続してください。

優先度 1. 主幹漏電ブレーカ － 分岐ブレーカ間

優先度 2. リミッタ － 主幹漏電ブレーカ間

4 CT クランプのケーブルを分電盤の外へ引き出します。

5 養生を撤去し、分電盤のカバーを閉じてから、リミッタと主幹漏電ブレーカのスイッチを入れます。

6 本商品の本体を付属のネジで壁面に設置します。

STOP お願い

・壁掛けに使用する壁に、十分な強度があることをご確認ください。

・壁に掛けた状態で、コードを強く引っ張らないでください。

本商品の設置面（背面）以外は 5cm 以上の空間を作るようにしてください。

7 本体側のピンジャックと、分電盤から引き出したCTクランプ側のソケットを接続します。

8 電力使用量が測定/収集できていることを確認してください。

お知らせ

・電力使用量は、3分に1回測定され、最大10回分の電力使用量が保持されます。

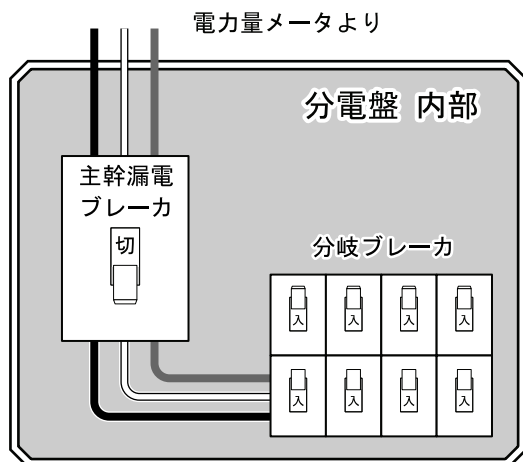
・測定された電力使用量は、親機が3分間隔で収集します。なお、収集の間隔は、親機との通信状況等により異なる場合があります。

以上でご使用前の準備が完了です。

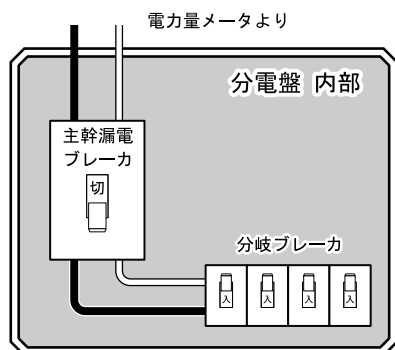
リミッタが設置されていない場合

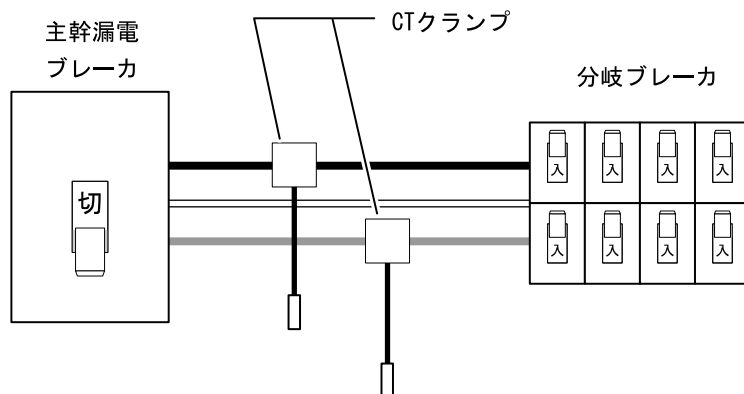
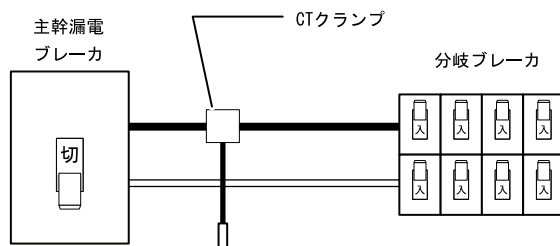
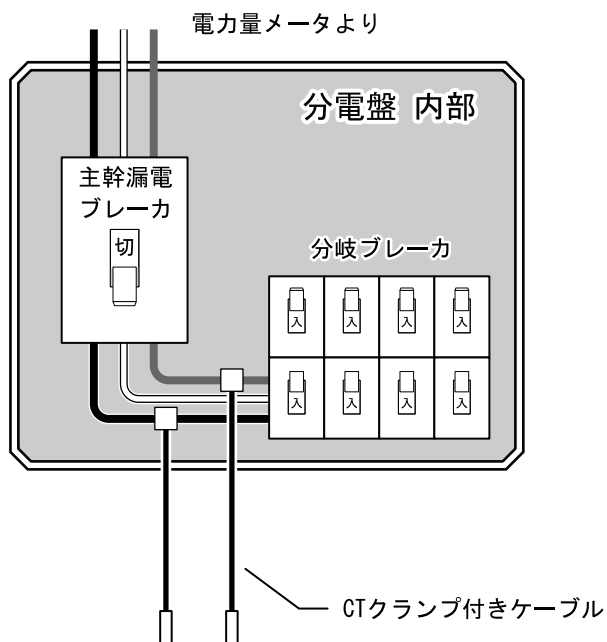
分電盤内部に、リミッタが設置されていないタイプに本商品を接続します。

1 分電盤のカバーを開きます。

2 主幹漏電ブレーカのスイッチを切り、ブレーカの金属端子部分を養生します。

イラストは分電盤内部の簡略図です。実際の内容とは異なることがあります。

お知らせ

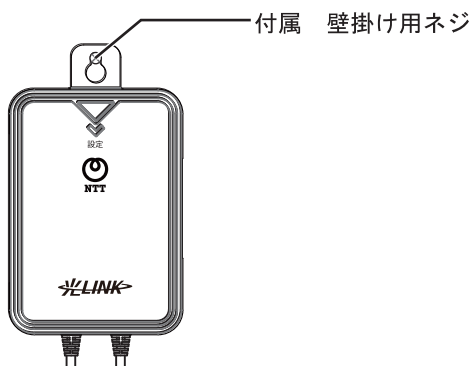
各ブレーカをつなぐケーブルは、2本の場合もあります。

3 CT クランプを分電盤内のケーブルに接続します。

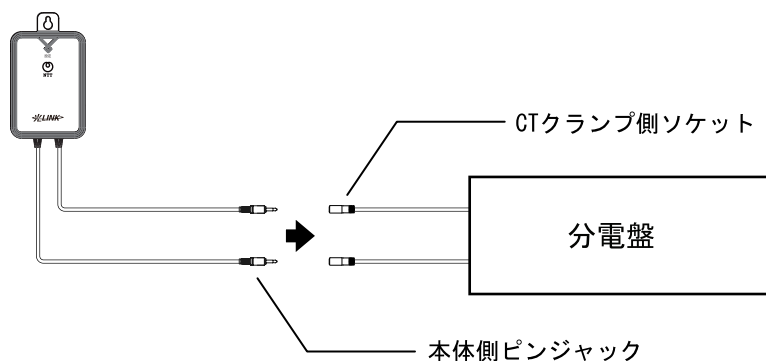
分電盤内の各ブレーカは、3 本のケーブルでつながれています。
下図のように中性線（主に白色）以外のケーブルに、それぞれ CT クランプを、カチッと音がするまで挟み込んでください。

お知らせ
各ブレーカをつなぐケーブルが2本の場合は、どちらかのケーブルにCTクランプを1つ接続してください。

4 CT クランプのケーブルを分電盤の外へ引き出します。

5 養生を撤去し、分電盤のカバーを閉じてから、主幹漏電ブレーカのスイッチを入れます。

6 本商品の本体を付属のネジで壁面に設置します。

STOP お願い

・壁掛けに使用する壁に、十分な強度があることをご確認ください。

・壁に掛けた状態で、コードを強く引っ張らないでください。

本商品の設置面（背面）以外は 5cm 以上の空間を作るようにしてください。

7 **本体側のピンジャックと、分電盤から引き出したCTクランプ側のソケットを接続します。**

8 **電力使用量が測定/収集できていることを確認してください。**

お知らせ

・電力使用量は、3分に1回測定され、最大10回分の電力使用量が保持されます。

・測定された電力使用量は、親機が3分間隔で収集します。なお、収集の間隔は、親機との通信状況等により異なる場合があります。

以上でご使用前の準備が完了です。

付 録

1　故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点をご確認ください。

現象：設定ボタンを押したが本商品のランプが点灯/点滅しない

対処：本商品に電池が挿入されていない可能性があります。
本商品に電池を挿入してください。（☞ p.16）

対処：本商品の電池残量がない可能性があります。
本商品の電池を交換してください。（☞ p.16）

現象：ペアリングができない

対処：本商品の電池残量がない可能性があります。
本商品の電池を交換してください。（☞ p.16）

対処：本商品と親機の距離が離れているとペアリングに失敗する場合があります。
親機の近くで再度ペアリングしてください。（☞ p.18）

対処：本商品と同じ無線周波数帯（2.4GHz 帯）の機器（電子レンジなど）をご使用中の場合、正常にペアリングができない可能性があります。
その場合は、本商品を本商品と同じ無線周波数帯の機器から離して再度ペアリングをしてください。

現象：電力が測定／収集できない、電池残量・通信確認ができない

対処：本商品の電池残量がない可能性があります。
本商品の電池を交換してください。（☞ p.16）

対処：ブレーカのスイッチがONになっていることを確認してください。

対処：本商品と同じ無線周波数帯（2.4GHz 帯）の機器（電子レンジなど）をご使用中の場合は、測定できない可能性があります。その場合は、本商品を本商品と同じ無線周波数帯の機器から離してください。

対処：本商品と親機が正しくペアリングされているかご確認ください。

対処：本商品と親機の間に障害物がある可能性があります。端末間はなるべく障害物を置かないようにしてください。

対処：ファームウェア更新中は、電力使用量を測定できない場合があります。

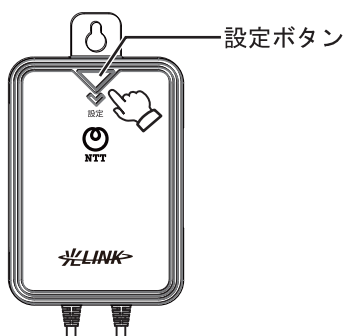
対処：ファームウェア更新中は、電池残量・通信確認できません。（☞ p.34）

対処：本商品とペアリングしている親機が、最新のファームウェアであることを確認してください。

対処：上記の対処を確認、および実施しても改善されない場合は、アンペアリングを実施し、再度ペアリングしてください。

2 電池残量･通信確認

本商品の電池残量、および親機との通信確認ができます。

1 本商品の設定ボタンを１回(1 秒程度)押します。

設定ランプのつき方	電池残量状態	通信結果
緑点灯（5秒）→ 消灯	電池残量が十分にあります。	通信成功
緑点灯（5秒）→ 緑点滅（3秒）	電池残量が十分にあります。	通信失敗
赤点灯（5秒）→ 消灯	電池残量が少なくなっています。 電池を交換してください。	通信成功
赤点灯（5秒）→ 赤点滅（3秒）	電池残量が少なくなっています。 電池を交換してください。	通信失敗
消灯	電池残量がありません。電池を交換してください。	

お知らせ

・設定ランプの状態は本商品前面からご確認ください。
・ファームウェア更新中は、電池残量・通信確認できません。
・設定ランプ点灯中に、再度、電池残量・通信確認を行わないでください。電力使用量の収集ができない場合があります。
・親機とペアリングを行わない状態では通信確認に失敗します。ペアリングした後に、通信確認を行ってください（☞ p. 18）
・親機と通信できない状態で放置した場合、電池の寿命が短くなります。

電池の交換方法は「1 本商品の準備」を参照してください。（☞ p.16）

3　初期化

本商品に保存された設定を初期化します。
本商品の初期化の方法は2種類です。

方 法	機能説明	参照先
アンペアリング	本商品および、親機のペアリング情報を消去します。	p. 36
初期化	本商品のペアリング情報のみ消去します。	p. 38

通常はアンペアリングを実施してください。（☞ p. 36）

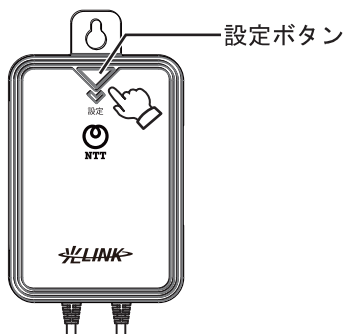
お知らせ
ファームウェア更新中は、アンペアリングおよび初期化できません。

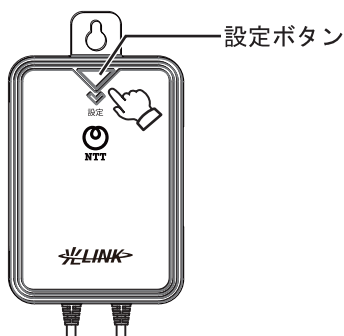
アンペアリング

本商品および、親機のペアリング情報を消去します。
アンペアリングを実行すると、親機とのペアリング情報が消去されます。
再度お使いになる場合は、改めてペアリングが必要になります。（☞p. 18）

お知らせ
アンペアリングは、親機になるべく近い距離で操作してください。

1 ペアリング済みの本商品の設定ボタンを 3 秒以上押します。

設定ランプが緑点滅（中速）になってから、設定ボタンを離します。

設定ランプが緑点滅（中速）になってから、1 分以内に手順 2 に進んでください。
1 分以上たつとアンペアリングができませんので、はじめからやりなおしてください。

2 設定ランプが緑点滅（中速）になっている間に、設定ボタンを再度 3 秒以上押します。

アンペアリングが完了すると、緑点滅の間隔が遅くなります。

設定ランプの緑点滅の間隔が早くなったら（緑点滅（中速）→緑点滅（高速））、アンペアリングに失敗しています。
はじめからやりなおしてください。

初期化

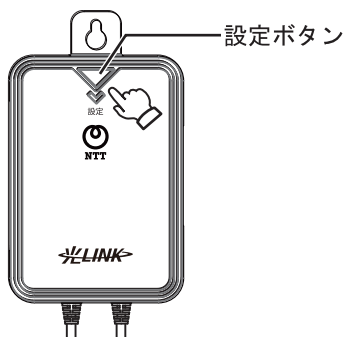
本商品のペアリング情報のみ消去します。
親機と通信できない場合や、他の親機とペアリングする場合に、本商品を初期化してください。

1 親機の電源を切ります。

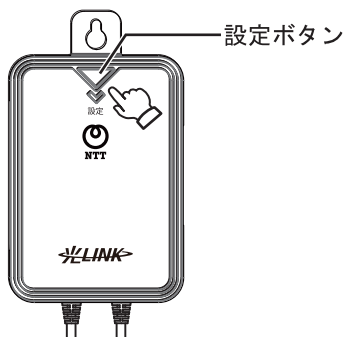
親機の電源の切り方は、親機に付属の取扱説明書をご確認ください。

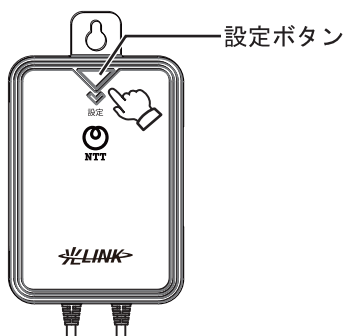
親機と通信可能な状態のまま以降の操作をすると初期化ではなく、アンペアリングの動作となり、親機側のペアリング設定情報も消去されます。（☞ p. 36）

2 ペアリング済みの本商品の設定ボタンを 3 秒以上押します。

設定ランプが緑点滅（中速）になってから、設定ボタンを離します。

設定ランプが緑点滅（中速）になってから、1 分以内に手順 3 に進んでください。
1 分以上たつと初期化ができませんので、はじめからやりなおしてください。

3 設定ランプが緑点滅(中速)になっている間に、設定ボタンを再度3秒以上押します。

設定ランプが緑点滅（高速）になってから、設定ボタンを離します。

設定ランプの緑点滅の間隔が早くなってから(緑点滅(中速)→緑点滅(高速))、20秒以内に手順 4 に進んでください。
20秒以上たつと初期化ができません。
はじめからやりなおしてください。

4 **設定ランプが緑点滅（高速）になっている間に、設定ボタンを再度 3 秒以上押します。**

初期化が完了すると、緑点滅の間隔が遅くなります。

設定ランプが消灯した場合は初期化に失敗しています。
はじめからやりなおしてください。

4　仕様一覧

本 体(ECP-2602-ZiSE/ECP-21202-ZiSE)

項 目		仕 様
無線機能	準拠規格	IEEE802.15.4/ARIB STD-T66
	使用周波数帯	2.4GHz帯（2405～2480MHz）
	セキュリティ	AES128bit
外形寸法(mm)	本体(突起部を除く)	約 70（W） × 25（D） × 100（H）
	ケーブル	長さ：約300
動作環境		温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85%(結露なきこと)
電 源		単3形電池 3本
最大消費電流		60mA
質 量（電池含む）		約 170g
適合認証		特定無線設備技術基準適合認証 端末機器技術基準適合認証
電波妨害波規格		VCCI クラスB

CT クランプ付きケーブル（ECP-2602-ZiSE 用）

項 目		仕 様
外形寸法 (mm)	CTクランプ	約 39 (W) × 23 (D) × 35 (H)
	ケーブル	長さ：約900
最大適用電流		60A rms
質 量		約 120g

CT クランプ付きケーブル（ECP-21202-ZiSE 用）

項 目		仕 様
外形寸法 (mm)	CTクランプ	約 46 (W) × 29 (D) × 31 (H)
	ケーブル	長さ：約900
最大適用電流		120A rms
質 量		約 180g

5　保守サービスのご案内（ご購入いただいたお客様へ）

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」を大切に保管してください。（詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

「定額保守サービス」と「実費保守サービス」をご用意しています。
当社では、安心して商品をご利用いただける、定額保守サービスをお勧めしています。

種 類	内 容
定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。 ・保証対象外の故障修理は有料となります。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 ・修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。 ・故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご了承ください。 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

6　お問い合わせ先

● **故障に関するお問い合わせ**

お問い合わせ先：　0120 – 000113

(24時間　年中無休※)

※ 17：00 ～ 翌日 9：00 までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※ 故障修理などの対応時間は 9：00 ～ 17：00 です。

● **本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ**

通信機器お取扱相談センタ

お問い合わせ先：FREE フリーアクセス　0120 – 970413

(9：00 ～ 17：00)

携帯電話・PHS・050IP 電話からご利用の場合

03-5667-7100 (通話料金がかかります)

年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日は休業とさせていただきます。

● **その他(ご購入いただいたお客様へ)**

定額保守サービスの料金については、上記の通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

● **補修用部品の保有期間について**

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、5 年間保有しております。